

エヴァンゲリオン RT 初号機 TRICK☆STAR 参戦報告書

“コカ・コーラ”鈴鹿 8時間耐久ロードレース

#01 予選10位、決勝15位

■エントリー名	エヴァンゲリオン RT 初号機TRICK☆STAR
■監督	鶴田 竜二
■ライダー	武石 伸也 第1ライダー 芹沢 太麻樹 第2ライダー 今野 由寛 第3ライダー
■チーフメカニック	平湯 恵介
■開催日/サーキット	7月23(金)～25日(日) / 鈴鹿サーキット(三重)
■クラス	EWC #01
■マシン	カワサキZX10R
■結果	予選10位 , 決勝15位

[予選] WEATHER: Fine COURSE: Dry

前日のフリー走行で武石選手が転倒し負傷した為、予選のタイムアタックは芹沢選手を軸に挑むことになった。今回のレースウィークから仕様変更したリアサスペンションの調整に、やや時間が掛かり計時予選は2分12秒00という平凡なタイムしか出せず、14番手で終了した。

翌日開催された、8耐初の試みスーパーポールで、我々はジャンプアップするよう取り組んだ。

スーパーポールは、芹沢選手1人で挑むことになり、まずはQ1でトップタイムからの16位に残ればいい。

タイヤを温存する為に3周だけタイムアタックをした。

無事Q2進み、トップタイムから8人に残る為に果敢に芹沢がタイムアタックを繰り返した。タイムを計時予選より大幅に更新し2分10秒6という

芹沢自身の自己ベストを叩き出し10番手まで順位を上げたところで終了した。

残念ながらトップタイムから8番手までのQ3には進めなかったが、

決勝に向けてのセッティングも向上し、順位より 内容ではかなりの収穫があった。



[決勝] WEATHER: Fine COURSE: Dry

当日は35℃を越える猛暑となり、タフなレースが予想された。

本来なら、昨年活躍した武石選手を軸に構成する予定だったが、木曜日のフリー走行で武石選手が転倒し、負傷してしまった為、芹沢選手と今野選手の2人で決勝を戦うことになった。

決勝スタートが切られ、ファーストライダー芹沢選手が10位辺りで前を行くマシンの動きを観察しながら順調にレースを進めていた。
ところが10周を過ぎたところで、エンジンが高回転域で失速してしまう症状が出た為、芹沢選手は緊急ピットインしてきた。
予想もしてない展開に、戸惑いは隠せず 各部電装系の接続チェックをし、コンピューター（ECU）を交換した。
ライダーも今野選手に交代し、タイヤ交換、ガソリン満タンにして再度コースイン。この時、5週の遅れを背負ってしまった。



今野選手のペースを見ながらエンジンの音とストレートスピードを目視し正常か異常か見分けていた。
ピットアウト後の数周、スピードも乗っていたが8周を過ぎた辺りから またマシンに異変が生じた。緊急ピットインさせ、予め予測していた燃料タンクだけを交換し、再び今野選手をコースに送り出した。

その後、トラブルは解消されエンジンも問題なく回り続け、大きく落とした順位を、チーム一丸となって取り戻すべく集中して追上げていった。1時間目は45位まで順位を落とすトップとの差も約6周遅れとなったが、芹沢選手と今野選手ともにアベレージスピードを高く保ち、2時間目39位、3時間目30位、4時間目23位、5時間目18位、6時間目16位、7時間目16位と遂には15位までポジションを上げてゴールした。

[ライダー 芹沢太麻樹]

マシントラブルで順位を下げたことに関して、とても残念な気持ちではありますが、モータースポーツでは少なからず起こりうることなので、仕方がないことだと受け入れています。チームに合流してから1ヶ月、監督を始めスタッフ全員のレースへの熱い思いと自分への期待に応えるべく、生活すべてを8耐のために費やしてきました。マシンテストの時間も限られ、厳しい状況ではありましたが、レースウィークでの自分のパフォーマンス、特にスーパーポールと決勝中のペースに関しては、チームに貢献できたと満足しています。決勝中、マシンは常にトラブルを抱えている状態で、苦しい走行となりましたが、最後まで心が折れることなく走れたのも、自分をサポートしてくれた全スタッフと応援していただいた皆様のおかげと、感謝しています。
ありがとうございました。



[ライダー 今野由寛]

300kmレースからチームに参加し3回のテストを重ね8耐本番へ挑みました。昨年準優勝、エヴァンゲリオンとタッグを組んで挑む注目されるチームで走るのにプレッシャーもありましたが、それをモチベーションにかえて常に高い意識をもって挑めたと思っています。今回、第3ライダーという立場で参加し、武石さん、太麻樹さんが作った流れを断ち切らないことを心がけていました。
レースウィークに入っているいろいろなことが起こりましたが、常に前向きに走り続けることができたと思っています。



今回、トリックスターチームの一員になれて、スポンサー、サポーター、スタッフみんなが一つで、とても居心地がよかったです。良い経験ができて自分も成長できたと思います。ありがとうございました！

[ライダー 武石伸也]

今年の春から各レースに参戦し多くのテストで積み上げて来た物を公式練習の初日に転倒してしまい 崩してしまいました。
芹沢選手、今野選手に いいマシンで少しでも多く走行してもらいたい
気持ちが冷静さを欠く結果になり、反省と後悔しております。
レーススタートまでに 回復を試み あらゆる手を尽くしましたが他の選手を危険にさらす可能性があり またチームにも負担になる可能性があったため出走を取り止めました。応援頂いた 多くの方々の期待に応える事ができず非常に悔しいです。
この悔しさは来年まで忘れずに必ず借りを返したいと思います



[チーフメカニック 平湯恵介]

最初に、支援して頂きましたスポンサー様、関係者の方々、ファンの皆様へチーフとして、マシントラブルにより成績が残せなかった事をお詫び申し上げます。すべては 8 耐のために全力でチーム運営に尽力された鶴田監督、マシン造りやライダーの中心となった武石選手、短い走行時間にも関わらず素晴らしい走りをしてくれた芹沢選手、自分のポジションでしっかり仕事してくれた今野選手、目標に向かってひとつになり熱い気持ちでレースに取り組んだ全てのスタッフ、こんな最高のメンバーでレースができた事に感謝し嬉しく思います。この悔しさを忘れず、いい意味で一年引きずり、来年の 8 耐までには更に強いチームとなるよう努力を続けて参ります。ご声援ありがとうございました。

[監督 鶴田竜二]

今回は エヴァンゲリオン新劇場版 プロモーションタイアップをうけ、ファンの皆さんの期待に応えられるよう挑みましたが、本来私たちの目指す順位には程遠い結果になってしまい残念です。
序盤のトラブルさえなければ、芹沢選手と今野選手のペースを考えると表彰台争いも可能だっただけに、非常に悔やまれます。トラブルは燃料タンク内にあるポンプの作動不良によるものと判明し、決勝中 同じ仕様のタンクに交換しましたが、そちらは同じトラブルは発生しませんでした。最初からそちらのタンクを使用していれば こんな結果にはならなかったと思われれます。まさに勝敗を分ける運のつきとも言える事態が起こってしまいました。今まで参戦してきてメカニカルトラブルは一度も無かった事に、どこか慢心していたのかもしれない。今後はこのような事が起こらないように、準備段階でさらに精度を上げて取り組みたいと思います。 昨年は、ほぼ順調にレースが運び2位を勝ち取る事ができただけであり、今年もレースへの取り組みや意識は昨年と変わっていません。今回 序盤のトラブルから諦めず一時は45位まで順位を落としたところから、チーム一丸となって最終的にポイント圏内の15位でゴールを迎えられたことは嬉しく思います。
ご支援承りましたスポンサー様をはじめ、最後まで共に戦って頂いたライダー、チームスタッフ、関係者の皆さん、ファンの皆様には感謝しております。ありがとうございました。

